

扎扎实实勤太くん 導入事例

株式会社マーキーズ 様

クラウド型 勤怠管理システム

人のチカラを最大限に。



社員の有給休暇の「見える化」を実現 ～残業半減と年休消化率UP～

● 導入事例概要

| | |
|------|-------------|
| 業種 | アパレル・ファッション |
| 打刻方法 | 手のひら静脈 |
| 利用規模 | 全国に35店舗 |



本社



新ロゴマーク



某店舗風景

● 株式会社マーキーズ様のご紹介

洋服と人のチカラで 家族の日常をもっと笑顔にしたい

マーキーズの歴史は、代表の廣畑正行が1991年、大阪・堺市にアメカジ子ども服のセレクトショップを開いたことにさかのぼります。当時は、カジュアルな子ども服メーカー自体が日本ではまだ少なかった時代。廣畑がアメリカで買い付けた大人顔負けのデニムなど、確かな審美眼がおしゃれ感度の高いママたちの間で評判となり、マーキーズはやがて人気店に。順調に出店を続け、2008年にはオリジナルブランドを立ち上げるまでに成長しました。

課題

月締め後に、各店舗からタイムカードを郵送してもらい、確認作業に時間がかかる



タイムカードが届いてからでしか、どの店舗で出勤したのか確認できない



正月に出勤した際の手当てや有給申請を紙ベースで申請するため、ファイル管理が大変



効果

WEBから、出勤簿を確認することができ月締め作業が軽減された



出勤場所をリアルタイムで確認する事が出来るようになった



WEBでワークフローを申請・承認でき、管理まで出来るようになった



● ご検討のきっかけ

全国に店舗が展開した事で業務が増え、遅くまで仕事をする事が多くなりました。各店舗では、従業員が仕事漬けになり、生活リズムも乱れ仕事の能率も下がっていました。こうした状況の中、社員の健康や仕事の効率を考え、休みを取ってもらおうと有給残数を確認を行いました。当時は紙ベースで有給の管理をしていたので、あと何日残っているのか把握するのに、さらに多くの時間と手間がかかってしまい、総務担当者への負担も大きくなってしまいました。社員のやる気と健康を考え、このままではいけないとシステムの導入の検討を行いました。

● 導入の決定ポイント

・従業員の有給管理の自動化

今まで紙ベースで管理していた申請書類（有給休暇等）が、データ管理する事ができ、従業員が計画的に有給を取得する事が可能になった。

・生体認証による不正防止

手のひら静脈を導入し、不正打刻等を防ぐことができ、適切な運用が可能となる。

・勤怠状況をリアルタイムで把握

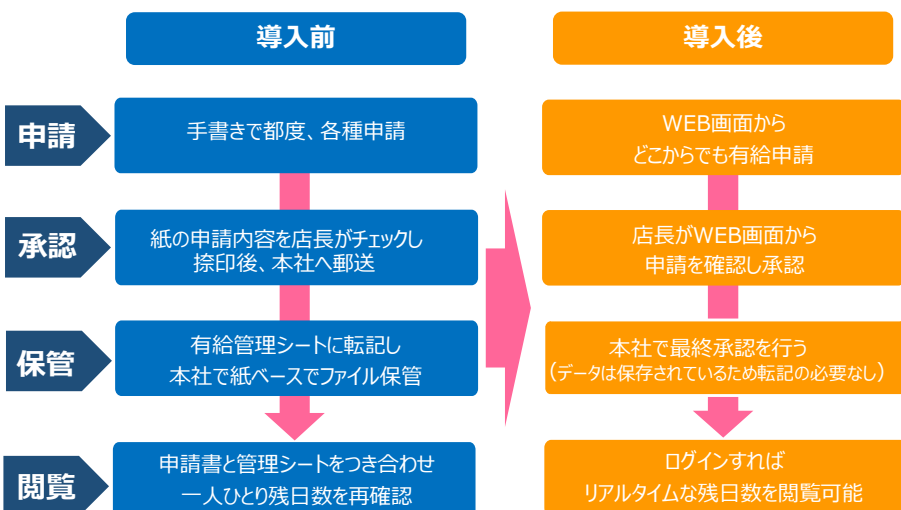
勤怠状況をリアルタイムで把握する事で、各店舗の従業員の残業状況を知ることができた。

・給与計算ソフトへの連携

給与ソフトへ手入力していたデータが、CSV出力する事で連携ができ、集計作業が簡単になった。



店舗のディスプレイ



本社ロビーのディスプレイ

● 導入効果

一番の問題点であった社員の残業時間の把握と、有給休暇の残数管理がデータで事前に確認する事ができるようになりました。このため、社員が計画的に有給を取得できる様になり長時間労働のリスクを分散できるようになりました。

手書きで管理していた頃は、転記・確認などの総務部の負担も大きかったですが、クラウドで管理する事で月末の締め作業も簡単で楽になりました。

また、紙ベースで行っていた給与や賞与明細の本人への配布を、WEB明細に変えることにより、袋詰め作業や郵送にかかる手間・費用を低減する事へ繋がりました。

● AISへ期待する事

- ・今後、店舗が増えた際に、各店舗にて操作説明など同様のサポートを行ってほしいです。
- ・各店舗で、どの時間帯に何人勤務しているか数字で確認できると便利です。
- ・使わなくなった有給休暇区分を削除できるようになると助かります。